



学校だより



宮城教育大学附属特別支援学校

令和6年3月7日(木) No. 1 3

教育目標

- 1 児童生徒一人一人の発達に応じた適切な教育を行い、心身の調和的な発達を図ります。
- 2 社会の一員として、心豊かでたくましく生きる力を身に付けた子供の育成を目指します。

TEL 022-214-3353

FAX 022-214-3362

E-mail : tokushi@tokushi.miyakyo-u.ac.jp

URL : [https:// tokushi.miyakyo-u.ac.jp](https://tokushi.miyakyo-u.ac.jp)

ここで学んだ 誇りをもって

3月8日(金)、小学部3名、中学部6名、高等部8名の卒業生が卒業します。今年度は、卒業生、在校生、教職員、卒業生保護者の方が一齐に体育館に会し、行われます。全体練習や総練習で、大きな声で返事をしたり、声を出して歌ったり、精一杯拍手を送ったり、礼節を重んじて行動したりすることを確認し、卒業生も在校生も「今までありがとうございます」という感謝と「これから頑張ります」という決意を込めて参列します。

卒業生の保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。コロナウイルス感染症が第5類となったこの一年は制限された活動ができるようになり、安全、安心な学校生活を保ちながら、「ひと」「もの」「こと」との豊かなかわりができるような教育活動を推進することができました。ひとえに、保護者の皆様のご支援、ご協力のおかげと心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

卒業生の皆さんには、本校校歌の歌詞にあるように「ここで学んだ 誇りをもって」一人一人が新たなステージで笑顔いっぱい、仲間とともに、自分らしく輝く姿を教職員一同、心より願っています。



小学部卒業生「卒業式練習」



中学部卒業生「卒業式練習」



高等部卒業生「3年生を送る会」



◆裏面は各学部の学習の様子です◆

豊かなかかわりを通して育む FUTOKU の種

今年度の重点努力目標の一つとして、様々な「ひと」「もの」「こと」との豊かなかかわりの中で、心動かされる体験学習の充実を図ることを掲げ、教育活動の充実を図って参りました。また、本校の目指す子供像である「明るく元気な子供」「自分から学ぶ子供」「みんなと仲良くする子供」「進んで働く子供」を、児童生徒が分かりやすいように、「FUTOKU の種」と示しながら、日々の学習活動に取り組んで参りました。4月から取組を重ねながら、かかわる「ひと」「もの」「こと」は学校内から地域社会へと広がり、「FUTOKU の種」の成長につながっています。今回は各学部の学習の様子をご紹介します。

小学部

メダカの学校、先生は僕たち

2月14日(水)、「交流活動を通して、異年齢の相手との関わり方を知る」とこと、「これまで学んだことを相手に伝えることができる」とことをねらいとして、あおば学級の児童が附属小学校4年生と交流活動を行いました。当日は、大学生や大学の先生が附属小学校4年生に理科の授業を行いました。その中で、あおば学級の児童が、中庭の池で飼っているメダカの観察を通して学んだことをクイズにして、附属小学校の児童に伝えました。あおば学級の6名は附属小学校の児童120名を前にし、堂々と、そして、少しのギャグを交えながらクイズを出題することができました。

ふだん、教えてもらったり助けてもらったりすることが多い本校の児童ですが、自分が学んだことが相手の学びにつながることで、相手に教えることができることを体感することができました。



中学部

プロフェッショナルな学びに心躍る

中学部では、保健体育の学習で「ボールを使った運動を通して、基本的な身体の動きを身に付ける」とことや「仲間と協力しながらゲームを行うことや相手を意識した動きができる」とことをねらいとして、フットサルの学習に取り組んでいます。

2月6日(火)、専門性の高い指導を受けることでねらいの達成を目指し、仙台市に拠点を置くフットサルチーム、ヴォスクオーレ仙台の選手の方を外部講師として招き、学習に取り組みました。生徒は専門性の高い知識技能を学びながら、プロフェッショナルな実技に目を丸くして感心したり、選手の方が説明する言葉を真剣な表情で聞いたり、褒められてうれしそうに笑ったり、心動かされる体験をすることができました。



高等部

社会人は第一印象も大事

2月27日(水)、高等部3年生を対象に、卒業後の豊かで自立した社会生活を送るための知識や技能を身に付けることをねらいとし、資生堂さんの協力を得て「身だしなみ講座」を行いました。第一印象にかかわる、清潔感や信頼感を高める身だしなみは、社会人として大事であることを、実際にスキンケアやスタイリング、メイクに取り組みながら学びました。学習は男子と女子に分かれ、男女共通としてスキンケアの基礎について、更に男子はスタイリングの仕方、女子は口紅等、簡単なメイクについて学びました。スキンケアの基礎では資生堂の方が顔のマッサージをする様子を見て、一生懸命真似たり、鏡で自分の顔を見てドキドキしながら口紅を付けてみたりしました。

ヘアスタイリングをしメイクアップした顔を鏡で見ながら、「きれいになりました」と笑顔を見せたり、「これからは自分でやってみたいです」と、少し照れた表情で話したりする様子が見られ、卒業後の新生活に期待を膨らませているようでした。



(文責 菅原 のぶ)